

ボリショイ・バレエ 2017 Nexus VOL.2

モスクワ発
現地速報

ボリショイの“美”がつまつた「ジゼル」！

2月18・19日ボリショイ劇場公演より



幕が開くと、まるで西洋絵画かタペストリーの世界に入ったかのような繊細で美しい村の風景。アルプレヒトがマントを翻し登場すると、大きな拍手と共に、劇場中が大きな期待感で満たされます。

第1幕、繰り返し登場し、時に初恋のときめきを、時に悲しみの淵にいるジゼルの絶望を奏でる有名な旋律が心を揺さります。アルプレヒトの裏切りを知った狂乱の中、ジゼルが幸せだった頃の思い出をたどるシーンでは、頬を

つたう涙を押さえることができませんでした。そして第2幕でも、鬱蒼とした森に漂う心のない冷たいウイーーたちの中にあって(群舞の整然とした美しさには思わず鳥肌がたちました)、ジゼルのアルプレヒトへの変わらぬ愛の深さが際立ち、劇場のスタッフでさえも客席で涙していた姿が忘れられません。

主役2人に留まらない群舞ひとりひとりが繰り広げる表現、美術、照明、衣装、音楽…ボリショイ・バレエの美意識が「ジゼル」には結集され、私たちの心を掴みます。舞台芸術の“極み”に触れた「ジゼル」公演でした。



ボリショイ魂の担い手

ウラディスラフ・ラントラートフ Interview

名実共にボリショイのトップダンサーとして大忙しのラントラートフ。
広いレパートリーの持ち主ですが、どんな役にも見事なまでに独自の命を吹き込み絶賛を浴びています。日本で披露される2つの当たり役について話を聞きました。



優しさや周囲への思いやりに溢れています。皆がよく生きるにはどうすればいいか、民衆の為に全力を注ぐ男。僕はそういう彼の人間的な面を大事にしているので、僕のフィリップはただ強いだけの男ではないと思います。

Q:「ボリショイ・バレエが初めて来日してから60年。日本のファンにメッセージをお願いいたします。」

A:日本は常に心地よく、僕にとって特別な国です。とても誠実に舞台を観て下さいます、お客様の心からの温かい反応は、忘れられないほど感動を与えてくれます。とにかく感謝しています。御礼が言いたい! 街並や生活の質、全てにおいて日本はどの国とも違う素晴らしさがあります。

Q:「パリの炎」のフィリップ役についてのお考えも聞かせてください。

A:僕のキャリアにおいて初めての大役でした。入団2シーズン目に、ラトマンスキイは当時19歳の僕を信頼しこの役をってくれました。だから「パリの炎」も僕にとって本当に特別で、大好きで、大切です。初恋の相手みたいなものですね(笑)。エネルギーに溢れ情感豊か。日本のお客様に楽しんで頂ける要素が沢山あります。きっと満足して頂けるでしょう! 数々のドラマがあり、踊りがあり、味わい深い個性豊かな日本の歴史と歴史が描かれています。フィリップは、ただ単に力強く民衆を率いる男ではなく、ジャンヌを気遣う

Q:「パリの炎」のフィリップ役についてのお考えも聞かせてください。

A:僕のキャリアにおいて初めての大役でした。入団2シーズン目に、ラトマンスキイは当時19歳の僕を信頼しこの役をしてくれました。だから「パリの炎」も僕にとって本当に特別で、大好きで、大切です。初恋の相手みたいなものですね(笑)。エネルギーに溢れ情感豊か。日本のお客様に楽しんで頂ける要素が沢山あります。きっと満足して頂けるでしょう! 数々のドラマがあり、踊りがあり、味わい深い個性豊かな日本の歴史と歴史が描かれています。フィリップは、ただ単に力強く民衆を率いる男ではなく、ジャンヌを気遣う

す。特に空港に着いた時のあの日本の雰囲気がたまりません! 早く日本に行きたいです。僕たちを楽しみに待っていて下さってありがとうございます。6月が待ち遠しいです。

△6/5(月)19:00「ジゼル」△6/14(水)19:00「パリの炎」



飛躍を続ける新女王と、すべての観客を虜にする理想のプリンス オルガ・スマルノワ&セミヨーン・チュージン Interview

東京で「白鳥の湖」2公演に主演する2人。

20代半ばでありながら、すでにボリショイ・バレエの看板バレリーナとして称賛されるオルガ・スマルノワは、自分の心に開いたけながら大切に言葉を紡ぐ姿が印象的。その気品漂う併まいからは、すでに歴史に残るバレリーナになるオーラを感じます。セミヨーン・チュージンは、ボリショイきってのダンスルーノーブル。ロマンティックな雰囲気を持ちながら、いつも優しく答えてくれる「理想の王子」です。

Q:ボリショイ・バレエとの初めての来日でですね。

オルガ・スマルノワ(以下、OS):はい。

4年前、マラホフさんのガラ公演で「白



Olga Smirnova

鳥の湖」の一部を踊りましたが、今度はすべてをご覧いただけます。歌がどんどん体に馴染んでいくように、役が自分自身に染み込み、今はオデット・オディールについては、自分なりの解釈を持つています。

Q:もう少し具体的に教えていただけますでしょうか?

OS:例えば、オデットは最初から最後まで「絶望」の中にいるのではないかと感じています。全く望みのない王子に会い、わずかな望みに期待しつつも、やはりハピエンドを信じてはいない、そのような「圧倒的な孤独」の中にいるのではないかと思います。オディールは島ではなく人間だと考えています。表面的な中性的ない存在で、王子の忠誠を破るために作られた偽の存在です。「白鳥の湖」は、人間の矛盾と両面性を表現している、心の奥底を映し出すような作品だと思います。

Q:古典から現代のものまでさまざまな役を踊られて、充実していらっしゃいますよね?

OS:もちろんです。新しい役に取り組めることに、とても満足しています。しかし矛盾するようですが、すっかり満足しているわけでもないのです。同じ演目でも、毎回何らかの変化があり、二度と同じ

舞台になることはありません。ダンサーは常に前進しなくてはいけませんから。そこに、バレーナという芸術家としての醍醐味があると思っています。

Q:前回の東京公演でのチュージンさんの踊りと演技は、本当に素晴らしいかったです。それから変化はありますか?

セミヨーン・チュージン(以下、SC):もちろんです。常に役と向き合っています。僕は素晴らしいアレクサンドル・ヴェトロフ先生がついて支えてくれています。公演が終わるたびに、先生とはテニックや、感情の表現について、舞台の全体的な出来baumなど、すべてを率直に話して次に進むのです。

Q:「白鳥の湖」はもう數え切れないほど踊ったのではないでしょうか?

SC:はい。「白鳥の湖」は最も好きな作品ですから。これまでにマリンスキー、チューリヒ、ダン・ランコなどでさまざまなバーションのものを踊りましたが、このボリショイ劇場のグリゴローヴィチ版は永久に保存すべき作品だと思います。

Q:「白鳥の湖」のどの部分がお好きなのでしょうか?

SC:特定のところではないのです。作品全体の流れすべてが魅力的です。悲劇で終わるのも当然の流れだと感じています。ジークフリードが一人残され余韻とともに終わる、これが人生を映し出しているのですから。

△6/7(水) 18:30「白鳥の湖」

△6/12(月) 18:30「白鳥の湖」



Semyon Chudin

日本の皆さんへ

①待望の初来日

アルチョム・オフチャレンコ

「白鳥の湖」の物語には、魔力が溢れています。偶然何かが起きる、突然何かを感じる、そんなインスピレーションに富んだストーリーにしたいと思います。

②観客を魅了するバレエ女優

エフゲニア・オブズソーワ

日本に行くのは本当に久しぶりです! たくさんの方々が待っていてくださっていることを知り、喜びが湧き上がっています。



Eugenia Obraztsova



△6/8(木) 13:00「ジゼル」
△6/11(日) 18:00「白鳥の湖」

ユーリー・グリゴローヴィチ 90歳記念フェスティバル at ポリショイ劇場

20世紀のロシア・バレエを語る上で欠かすことの出来ない存在—ポリショイ・バレエを拠点に輝ける時代を築いた大振付家ユーリー・グリゴローヴィチが、2017年1月2日、90歳のお誕生日を迎えた。グリゴローヴィチが、オリジナルもしくは改訂振付としてかけた作品群は、いまでもバレエ団のレパートリーの核として輝き続けています。ポリショイ・バレエでは、2017年1月2日の「ぐるみ割り人形」を皮切りに2月26日まで、2ヶ月間にわたり、氏の代表作11作品を上演する「グリゴローヴィチ・フェスティバル」を開催。巨匠自らが姿を見せた1月2日の「ぐるみ割り人形」終演時には、舞台上のダンサーたちからもちろんのこと、劇場中の観客から注がれる祝福の拍手を受けました。日本公演で披露される「白鳥の湖」「ジゼル」もユーリー・グリゴローヴィチによる名版です！



90歳を迎えたグリゴローヴィチ



2017年1月2日「ぐるみ割り人形」終演後
舞台で祝福の拍手を受けるグリゴローヴィチ

ポリショイ劇場で 日本公演に向けた記者会見が行われました！

2月17日(金)ポリショイ劇場の「皇帝の間」で、日本公演に向けた記者会見が行われました。これは今年(2017年)がポリショイ・バレエの初来日から60年という節目にあたることから、劇場が特別に開闢したもので、ワジーエフ監督はじめステパノフ、ロヂキン、ツヴィルコ、そして上月豊久在ロシア特命全権大使が登壇、多くの報道陣が集まりました。会見でワジーエフ監督は「公演を成功させるため、あらゆる努力を重ねる覚悟ができています。私たちは全国民を代表し“ロシア芸術の大使”として日本に行きます」と、意気込みを長い手を広げながら熱く語りました。この会見の様子は、テレビ、新聞などでも報道されており、日本公演への期待の高さを感じさせます。皆さんも、どうぞこの歴史的な公演をお見逃しなく！



寒気込みを語るワジーエフ監督



ポリショイ劇場「皇帝の間」での記者会見

来日に備える！記念講演会開催！

初来日から60年にならない、バレエ史研究家の川島京子さんが「初来日が日本に与えた衝撃」を講演。ポリショイ劇場でバックステージアーガイドを務める川島さんは、画像を使いながらバチャラックステージアーガイドを行なっています。

4月15日(土)14:00-16:30 朝日新聞東京本社読者ホール
【参加申込み方法】

往復はがきに郵便番号・住所、氏名、年齢、電話番号を記し、〒150-8905 渋谷区渋谷2-1-6 ジャパン・アーツ「ポリショイ・バレエ講演会」参考募集係、にお送りください。3月15日(水)必着。応募多数で抽選。

来日記念特別展示も各地で！

代官山 蔦屋書店

【展示開催期間】4月22日(土)～5月5日(金)
映像・写真を多款ご紹介するスペシャル展示。

代官山 蔦屋書店 1号館2階 映像フロア（東京都渋谷区猿楽町17-5）

【電話】03-3770-2525

チャコット 渋谷本店

【展示開催期間】3月17日(金)～4月末
美しい舞台写真・ダンサーの素顔を捉えた瀬戸芦美氏の写真を特別展示

チャコット 渋谷本店（東京都渋谷区神南1-20-8）

【電話】0120-919-031

“RUSSIAN SEASONS” in ジャパン 2017

ロシア政府が2017年から毎年ひとつ目の国を選び、順番にロシア文化芸術を紹介していくフェスティバル「Russian Seasons」の開幕を表明しました。1年目の今年、その開催地として日本を選ばれ、今月来日60周年を迎えるポリショイ・バレエの日本公演が、そのオープニングを飾ることになりました。上述の記者会見でも、上月在ロシア日本国特命全権大使がその意義について言葉を述べ、多くの記者がペンを走らせていました。舞台・音楽・美術・サークルなど、ロシア芸術家による500を超える催事が、日本全国40以上

RUSSIAN SEASONS
Japan 2017

完売
終了
好評発売中

ポリショイ・バレエ 2017 6/4(日)～6/15(木) 東京文化会館

最新情報をお届けいたします！
[twitter](#) @ja_ballet

演目

日程

予定キャスト

「ジゼル」 (全2幕)
(上演時間：約2時間20分(休憩1回含む))
作曲：アントワネット・アーン
原振付：ジン・コリー/ジユール・ペロー/マリウス・ブティバ
改訂振付：ユーリー・グリゴローヴィチ

6/4(日) 13:00 エフゲニヤ・オブラスツォワ/イーゴリ・ツヴィルコ
6/4(日) 19:00 **完売** スヴェトラーナ・ザハーロワ/デニス・ロヂキン
6/5(月) 19:00 エカテリーナ・クリサノワ/ウラディスラフ・ラントラートフ

6/7(水) 18:30 オルガ・スマルノワ/セミヨン・チュージン

6/8(木) 13:00 エカテリーナ・シブリナ/アルチム・オフチャレンコ

6/8(木) 19:00 **完売** スヴェトラーナ・ザハーロワ/デニス・ロヂキン

6/11(日) 18:00 ユリア・ステバノワ/アルチム・オフチャレンコ

6/12(月) 18:30 オルガ・スマルノワ/セミヨン・チュージン

「白鳥の湖」 (全2幕)

(上演時間：約時間35分(休憩含む))
作曲：ピートル・チャコフスキ
原振付：マリウス・ブティバ/レフ・イワノフ/
アルケンドル・ゴルスキ
改訂振付：ユーリー・グリゴローヴィチ(2001年版)

6/14(水) 19:00 エカテリーナ・クリサノワ/ウラディスラフ・ラントラートフ
6/15(木) 19:00 エカテリーナ・シブリナ/イワン・ワシリエフ

「パリの炎」 (全2幕)

(上演時間：約時間15分(休憩含む))
作曲：ボリス・サフィノフ
原振付：ジン・コリー/マリウス・スキ

〈チケット料金 (6/4(日)19:00, 6/8(木)19:00公演除く)〉 **良席専用**
S ¥24,000 A ¥20,000 B ¥17,000 C ¥13,000 D ¥9,000

〔夢劇樂部会員料金〕 S ¥23,000 A ¥19,000 B ¥16,000 C ¥12,000 D ¥8,100

〈ザーハーフ主演公演〉 6/4(日)19:00「ジゼル」 6/8(木)19:00「白鳥の湖」
S ¥26,000 A ¥22,000 B ¥19,000 C ¥15,000 D ¥11,000

〔夢劇樂部会員料金〕 S ¥25,000 全席専用 6/4(日)19:00 B ¥18,000 C ¥14,000 D ¥10,000

お得な3演目セット券 (S,A,B券対象)

※ジャパン・アーツ夢劇樂部会員の方
は、夢劇樂部会員価格からの割引にな
ります。※3演目セット券は、ジャパン・ア
ーツpielコレクションでのTEL受付の
みとなります。

〈特別割引チケット〉 ジャパン・アーツpielコレクション及びWEBジャパン・アーツひき受け付

〔学生割〕 各種チケットの半額で発売中!
※社会人、学生を除く20歳未満の学生が対象です。※夢劇樂部会員の学生の方も
一般価格の半額です。当日入団で学生登録をされたい場合は、学生証をご提示ください
場合は、一般料金との差額を支払う事になります。必ずお持ち下さい。

〔その他割引チケット〕 65歳以上のの方は、席と席まで会員料金をお求め
下さい。※夢劇樂部スズベースを車椅子でご利用の場合、割引がございます。(本人と付き添
いの方名義) 事前にジャパン・アーツpielコレクションまでご連絡下さい。

主催：朝日新聞社/ジャパン・アーツ 後援：ロシア連邦大使館
〔ポリショイ・バレエ 2017日本公演〕

〔公演日程〕 6/4(日)～6/15(木) 東京文化会館

〔上演時間〕 6/4(日)19:00「ジゼル」 6/8(木)19:00「白鳥の湖」

6/10(土) 19:00「白鳥の湖」 6/11(日) 19:00「白鳥の湖」

6/12(月) 19:00「白鳥の湖」 6/13(火) 19:00「白鳥の湖」

6/14(水) 19:00「白鳥の湖」 6/15(木) 19:00「白鳥の湖」

〔上演場所〕 6/4(日)～6/15(木) 東京文化会館

〔開演時間〕 開演時間は遅れず長時間ご当地を待ちたが
ることになります。時間には余裕をもってお越しください。②いかなる場合もチケットの再発行はできません。紛失等は
には十分ご注意下さい。③4歳未満の乳幼児の購入は受け付けていませんので、お子様がいる場合は1人1枚
チケットが必要です。④完全座席制。指定の座席にてご観覧下さい。⑤場内での飲食・録音・録画・携
帯電話等の使用は、固くお断りいたします。⑥チケット・券面・券根・チケットセイタ - 06-6231-2221

〔次のことをお守りください〕 ①開演時間は遅れず長時間ご当地を待ちたが
ることになります。時間には余裕をもってお越しください。②いかなる場合もチケットの再発行はできません。紛失等は
には十分ご注意下さい。③4歳未満の乳幼児の購入は受け付けていませんので、お子様がいる場合は1人1枚
チケットが必要です。④完全座席制。指定の座席にてご観覧下さい。⑤場内での飲食・録音・録画・携
帯電話等の使用は、固くお断りいたします。⑥チケット・券面・券根・チケットセイタ - 06-6231-2221

〔お問い合わせ〕 6/4(日)～6/15(木) 東京文化会館チケットサービス: 03-5685-0650 ○チケットぴあ: t.pia.jp 0570-02-9999 (Pコード:452-242)

○イープラス: eplus.jp ○ローソンチケット: 0570-000-407 (Lコード:36528)

舞踊監督：マハールベク・ワジーエフ 指揮：バーベル・ソローキン 演奏：ポリショイ劇場管弦楽団

上記出演者は2017年2月27日現在の来日予定メンバーです。出演者は、病気、怪我、その他の他の止むを得ない事情で変更になる場合がございます。最終的な出演者は当日発表とさせていただきます。一旦お求めいただきましたチケットは、公演中止の場合を除きキャンセル・公演日の振替等をお受けできません。あくまでもご承知下さい。ただし、6/4(日)19:00「ジゼル」、6/8(木)19:00「白鳥の湖」上演については、ザハーロワの脚本がなくなった場合に限り、他公演チケットとの差額をご返却させていただきます。ご承諾いただけない場合は、当日券のご利用をお願いいたします。(前売りで売り切れとなった場合は当日券の販売はございません。)

(チケットのお申込み) ジャパン・アーツぴあ 03-5774-3040 www.japanarts.co.jp/

○ 東京文化会館チケットサービス: 03-5685-0650 ○チケットぴあ: t.pia.jp 0570-02-9999 (Pコード:452-242)

○ イープラス: eplus.jp ○ ローソンチケット: 0570-000-407 (Lコード:36528)

Photo: Damir Yasupov